

# 景気動向調査

(飲食業、サービス業、卸・小売業、建設業)

令和2年7～12月期

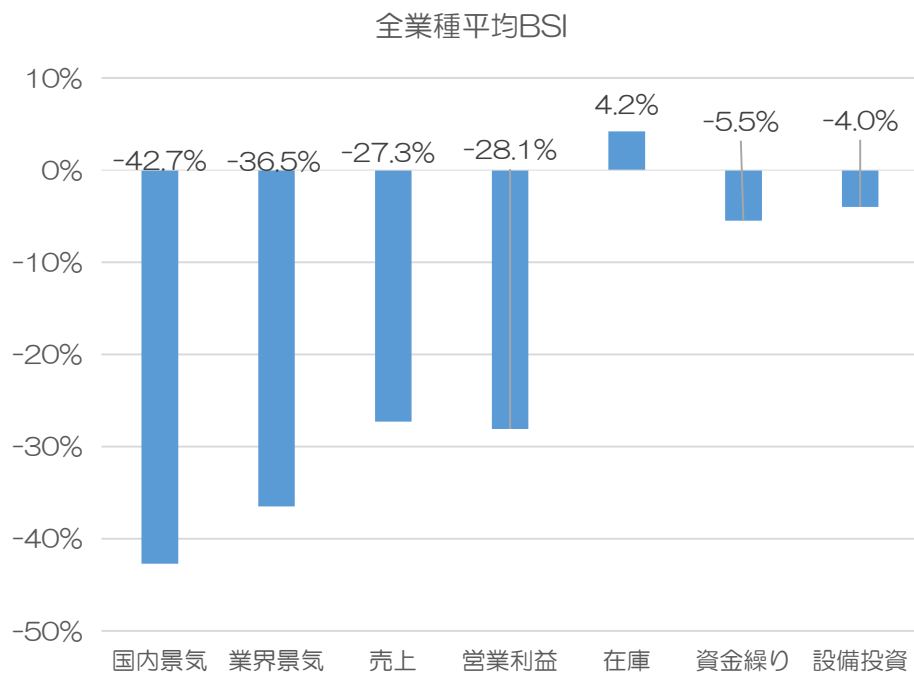
## 調査概要

調査時期	令和3年2月1日～同15日
調査対象時期	(当期) : 令和2年7月～12月 (次期) : 令和3年1月～6月
調査対象企業	一般商工業者86社(飲食業、サービス業、卸・小売業、建設業)
有効回答率	75.6%
調査方法	郵送によるアンケート方式
調査内容	①業界景気、自社景況などの実績と次期予測 ②経営上の課題 ③新型コロナウイルスの事業への影響、望む支援など(自由記述)

# 調査総評

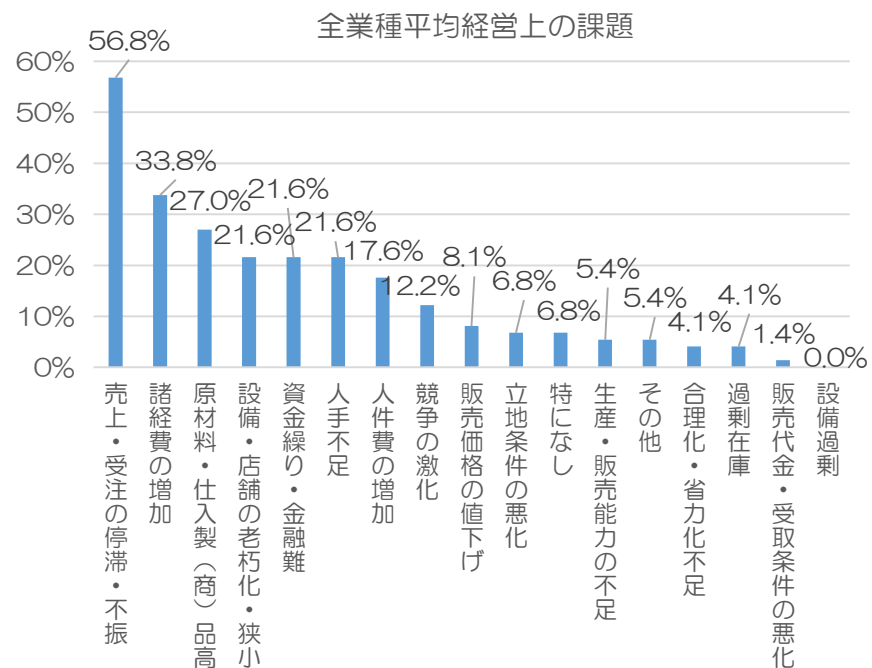
## (1) 全業種平均BSI

(プラス：良好 マイナス：不良)



良好、不良ともに最大値は±50となるが、「国内景気」は不良の最大値に近い-42.7%を記録。景気の減退が、売上および営業利益に直結していると予想できる。

## (2) 全業種平均経営上の課題



「売上・受注の停滞・不振」が56.8%を記録し、5割以上の事業者が売上不振に直面していることがわかる。「諸経費の増加」、「原材料・仕入製(商)品高」と続く。

# 1.【質問1】集計結果

—B.S.1で見る業種別景気動向—

## B.S.Iとは

- 「Business Survey Index（ビジネス・サーベイ・インデックス）」の略で、景況判断指数のひとつ
- 現在の景気水準をはかるDI（ディフュージョン・インデックス）に対して、BSIは前期と現在の景気状況を比較するため、景気の方角性を判断できる
- 下記の計算式で算出された数値が、プラスであれば景気に対する判断は上向き、マイナスであれば下向きと判断する

計算式：（「上昇：好調の要素」－「下降：不調の要素」）÷2

※最大値はプラスマイナスいずれも「50」となる

# 質問事項

以下の項目について、当期実績および次期予測を伺います。選択肢から該当するものを選び解答欄にご記入ください。

	項 目	回答欄	
		当期実績	次期予測
1	国内景気について 1. 良い 2. やや良い 3. 不変 4. やや悪い 5. 悪い		
2	貴業界景気について 1. 良い 2. やや良い 3. 不変 4. やや悪い 5. 悪い		
3	貴社 売上について 1. 増加 2. やや増加 3. 不変 4. やや減少 5. 減少		
4	貴社 営業利益について 1. 増加 2. やや増加 3. 不変 4. やや減少 5. 減少		
5	貴社 製(商)品在庫について 1. 過少 2. やや過少 3. 不変 4. やや過多 5. 過多		
6	貴社 資金繰りについて 1. 容易 2. やや容易 3. 不変 4. やや困難 5. 困難		
7	貴社 設備投資について 1. 増加 2. やや増加 3. 不変 4. やや減少 5. 減少		

## (1) 国内景気について

対象期間	平均値	飲食	サービス	卸・小売	建設
当期実績（令和2年7月～12月）	-42.3	-44.4	-50.0	-39.6	-35.3
※前回予測値と当期実績値の比較	2.8	5.6	-6.2	2.4	9.1
次期予測（令和3年1月～6月）	-40.1	-44.4	-39.3	-35.4	-41.2
※当期実績値と次期予測値の比較	2.2	0.0	10.7	4.2	-5.9

### 【当期実績】

- サービス業が負の最大値であるBSI-50.0を記録。全ての回答が「悪化」の要素だった
- すべての業種で大幅な景気の落ち込みが続く

### 【次期予測】

- いずれの業種も、当期実績と大きく数値が変わることなく、国内景気は悪化の見通し

## (2) 業界景気について

対象期間	平均値	飲食	サービス	卸・小売	建設
当期実績（令和2年7月～12月）	-36.7	-44.4	-42.9	-41.7	-17.6
※前回予測値と当期実績値の比較	7.4	5.6	-2.3	2.3	24.1
次期予測（令和3年1月～6月）	-38.0	-50.0	-32.1	-37.5	-32.4
※当期実績値と次期予測値の比較	-1.3	-5.6	10.8	4.2	-14.8

### 【当期実績】

- 建設業のBSIが-17.6で、前回予測値との差が24.1となり、予測されたような悪化には至らなかった
- いずれの業界もBSIは負の数値を示しており、依然として苦しい状況が続いている

### 【次期予測】

- 飲食業のBSIは-50.0を記録し、現状よりさらに厳しくなる見通しとなった
- 当期では改善傾向にあった建設業も、次期は落ち込み予測となった



### (3) 売上景気について

対象期間	平均値	飲食	サービス	卸・小売	建設
当期実績（令和2年7月～12月）	-30.4	-44.4	-46.4	-25.0	-5.9
※前回予測値と当期実績値の比較	5.9	5.6	-5.8	13.0	10.8
次期予測（令和3年1月～6月）	-37.7	-50.0	-42.9	-31.3	-26.5
※当期実績値と次期予測値の比較	-7.3	-5.6	3.5	-6.3	-20.6

#### 【当期実績】

- 飲食業とサービス業の落ち込みが続いている
- 一方で、卸・小売業、建設業では、改善が読み取れる結果となった

#### 【次期予測】

- 建設業は当期比-20.6%ポイントを記録し、悪化予測となった
- そのほか、数値の大きな変化はない。依然として厳しい状況が続く見通しに

## (4) 営業利益について

対象期間	平均値	飲食	サービス	卸・小売	建設
当期実績（令和2年7月～12月）	-31.0	-44.4	-42.9	-25.0	-11.8
※前回予測値と当期実績値の比較	5.4	5.6	-5.4	11.0	10.4
次期予測（令和3年1月～6月）	-35.9	-50.0	-39.3	-25.0	-29.4
※当期実績値と次期予測値の比較	-4.9	-5.6	3.6	0.0	-17.6

### 【当期実績】

- 飲食業、サービス業の落ち込みが目立つ
- 一方で、卸・小売業、建設業では、改善が読み取れる結果となった

### 【次期予測】

- 建設業が当期比-17.6ポイントで、悪化予測となった
- そのほか、数値の大きな変化はない。依然として厳しい状況が続く見通しに

## (5) 製(商)品在庫について

対象期間	平均値	飲食	サービス	卸・小売	建設
当期実績(令和2年7月~12月)	3.9	5.6	0.0	4.2	5.9
※前回予測値と当期実績値の比較	0.5	8.9	-3.1	-3.8	0.3
次期予測(令和3年1月~6月)	3.2	5.6	0.0	4.2	2.9
※当期実績値と次期予測値の比較	-0.7	0.0	0.0	0.0	-3.0

### 【当期実績】

- 在庫の増減について、大きな変化はない

### 【次期予測】

- 次期についても当期と同様の状況が続く見通し

## (6) 資金繰りについて

対象期間	平均値	飲食	サービス	卸・小売	建設
当期実績（令和2年7月～12月）	-9.5	-33.3	-10.7	0.0	5.9
※前回予測値と当期実績値の比較	9.2	3.4	8.1	8.0	17.0
次期予測（令和3年1月～6月）	-11.3	-22.2	-7.1	-4.2	-11.8
※当期実績値と次期予測値の比較	-1.8	11.1	3.6	-4.2	-17.7

### 【当期実績】

- 飲食業のBSIが突出している。他業種に比べて、落ち込みが大きい
- 建設業では予測されたような厳しい状況には陥らなかった

### 【次期予測】

- 飲食業はやや改善に向かう予測となったが、厳しい状況が続く見通しに
- 建設業は再び落ち込み予測に

## (7) 設備投資について

対象期間	平均値	飲食	サービス	卸・小売	建設
当期実績（令和2年7月～12月）	-6.1	-16.7	0.0	4.2	-11.8
※前回予測値と当期実績値の比較	4.5	0.0	18.8	8.2	-9.0
次期予測（令和3年1月～6月）	-9.9	-22.2	-3.6	-2.1	-11.8
※当期実績値と次期予測値の比較	-3.8	-5.5	-3.6	-6.3	0.0

### 【当期実績】

- 減少が予測されたサービス業では、落ち込みを見せなかった
- 飲食業、建設業では減少傾向に。卸・小売業ではやや増加した

### 【次期予測】

- 飲食業ではさらに悪化の予測、その他業種では当期と大きく変わらない見通しに

## 2. 【質問2】 集計結果

—業種別、経営上の課題—

# 質問事項

経営上の課題について、該当するものを3つまで選び、ご記入ください。

合理化・省力化不足

設備・店舗等の老朽化・狭小

原材料・仕入製（商）品高

販売代金・受取条件の悪化

設備過剰

売上・受注の停滞・不振

資金繰り・金融難

人手不足

人件費の増加

過剰在庫

販売価格の値下げ

競争の激化

生産・販売能力の不足

諸経費の増加

立地条件の悪化

その他（

）

特になし

# (1) 業界別結果

	合理化・省力化不足	設備・店舗の老朽化	原材料・仕入製(商)品高	販売代金・受取条件の悪化	設備過剰	売上・受注の停滞・不振	資金繰り・金融難	人手不足	人件費の増加	過剰在庫	販売価格の値下げ	競争の激化	生産・販売能力の不足	諸経費の増加	立地条件の悪化	その他	特になし
飲食業	0.0%	22.2%	22.2%	0.0%	0.0%	77.8%	44.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	22.2%	11.1%	11.1%	0.0%
※前回比	-6.7%	8.9%	-4.5%	-6.7%	0.0%	11.1%	4.4%	-26.7%	-13.3%	-13.3%	0.0%	0.0%	-13.3%	-17.8%	-2.2%	11.1%	0.0%
サービス業	7.1%	35.7%	7.1%	0.0%	7.1%	35.7%	28.6%	21.4%	28.6%	0.0%	0.0%	14.3%	35.7%	28.6%	7.1%	0.0%	7.1%
※前回比	-5.4%	16.9%	0.8%	0.0%	7.1%	-20.6%	16.1%	2.6%	-8.9%	0.0%	0.0%	1.8%	29.4%	3.6%	7.1%	-6.3%	0.8%
卸・小売業	0.0%	33.3%	29.2%	0.0%	0.0%	70.8%	4.2%	0.0%	8.3%	4.2%	8.3%	12.5%	12.5%	33.3%	16.7%	4.2%	0.0%
※前回比	0.0%	-6.7%	-10.8%	0.0%	0.0%	6.8%	-15.8%	-8.0%	0.3%	0.2%	-3.7%	-3.5%	8.5%	-10.7%	4.7%	-7.8%	-4.0%
建設業	23.5%	5.9%	5.9%	5.9%	0.0%	41.2%	17.6%	41.2%	5.9%	0.0%	11.8%	29.4%	5.9%	17.6%	0.0%	5.9%	0.0%
※前回比	23.5%	0.3%	-21.9%	5.9%	0.0%	2.3%	0.9%	2.3%	-10.8%	0.0%	-4.9%	12.7%	5.9%	-4.6%	0.0%	5.9%	-16.7%

：最も回答率が高い項目

※赤文字表記：前回調査比で増減が10%以上



## (2) 特記事項

### ①飲食業、サービス業

#### <飲食業>

- ・「売上・受注の停滞・不振」が77.8%と多くの回答を集めた。前回比でも11.1%上昇している
- ・「資金繰り・金融難」が44.4%と前回より4.4%増加したほか、依然高い数値が続いている

#### <サービス業>

- ・「設備・店舗の老朽化」、「売上・受注の停滞・不振」、「生産・販売能力の不足」が35.7%で最上位となった
- ・上記のうち「設備・店舗の老朽化」、「売上・受注の停滞・不振」が回答割合を伸ばしており、「資金繰り・金融難」も上昇傾向にある

### ②卸・小売業、建設業

#### <卸・小売業>

- ・「売上・受注の停滞・不振」が70.8%と多くの回答を集めた。前回比でも6.8%上昇している
- ・「資金繰り・金融難」、「原材料・仕入製（商）品高」、「諸経費の増加」は、それぞれ減少した

#### <建設業>

- ・「競争の激化」が29.4%と前回より12.7%上昇した。この回答項目は他業種と比較しても、建設業が最も多くの回答を集めていた
- ・一方で「原材料・仕入製（商）品高」は21.9%、「人件費の増加」は10.8%の減少となった

### 3.【質問3】 寄せられた声

新型コロナウイルス感染症流行拡大による  
事業への影響や、要望する支援

# 特記事項

## ①給付金・助成金、経営

### <給付金・助成金>

- ・持続化給付金や雇用調整助成金などの延長を希望
- ・特定業種のみならず、対象を幅広くしてほしい
- ・企業規模に応じた支援を望む

### <経営>

- ・現在はコロナウイルスの影響を受けていないが、先行きが不透明で不安がある
- ・人の移動が制限され、観光客もいない状況が続いて厳しい状況が続いている
- ・以前の商売スタイルに戻るの難しいと思う。先を見据えた、新生活様式に迎合した商売のヒントを学べる機会が欲しい

## ②コロナウイルス関連、社会保障・税制

### <コロナウイルス関連>

- ・徹底した感染防止
- ・多くの人へ早期のワクチン接種実現
- ・感染者への対応を厚くしてほしい

### <社会保障・税制>

- ・雇用維持に努める企業の社会保険の減免
- ・消費税の猶予

### <その他>

- ・国全体にネガティブなムードが漂っており、委縮せざるを得ない状況にある